

クワシロカイガラムシの発生状況と 防除方法について（第2世代）

平成30年7月12日
埼玉県茶業研究所

クワシロカイガラムシ（以下クワシロ）の産卵や幼虫の発生は平年並みの見込みです。

次の方法により、茶園の防除を適切に行ってください。

1 発生状況

7月12日現在、クワシロ雌成虫の産卵率は80%から100%に達しており、一部の地域で歩行幼虫が発生し始めています。

2 積算温度による推定

青梅アメダスデータと各地で調査している温度データによる推定防除適期は以下の通りです。（今後1週間、高温が続いた場合で推定しています）

積算温度調査地点	積算温度と切り枝調査による推定防除適期
所沢市（下富） 所沢市（東狭山ヶ丘） 入間（上藤沢）	7月25日～8月2日
所沢市（北野新町） 狭山市（笹井） 入間市（野田） 入間（根岸） 入間（木蓮寺）	7月28日～8月5日
青梅アメダスデータ	7月20日～25日

3 防除適期

防除適期は幼虫が発生し始めてから7～10日後になります。7月12日現在の幼虫発生状況や積算温度による推定から、防除適期は7月28日～8月5日頃と想定されます。

ただし第1世代の発生が早かった地域や日陰のある茶園では7月25日～8月2日頃と想定されます。深刈り・中切りをしていて茶株内が高温になる場合、また今後も猛暑日が続く場合は適期が遅れる可能性があります。第2世代は涼しいほ場では発生が早く、暖かいほ場では発生が遅くなる傾向があり、ほ場条件でかなり異なります。

防除効果が期待できる時期はとても短いのでこれらの適期を逃さないようにしましょう。判断が難しい場合はご相談ください。

なお、下記の日程で茶業研究所にて防除適期判定会を行いますので、クワシロが付いている枝を切って都合の良い時間にお持ちください。

防除適期判定会

日	時 間	場 所
7月19日(木)	午前9時～午後4時	茶業研究所農業革新支援担当 (1階奥)
25日(水)		
30日(月)		

4 防除方法

プルートMCを散布していないほ場については、アプロードエースフロアブルまたはコルト顆粒水和剤を防除基準に従って散布してください。これらは、天敵に影響の少ない農薬です。株内の枝に十分液がかかるように丁寧に実施してください。

プルートMCを散布したほ場については、他の薬剤でこの時期に防除をする必要はありませんが、クワシロの発生については今後注意して観察を行ってください。

農薬を使用する際には、必ず使用農薬のラベルを確認しましょう

※この通知は茶業研究所農業革新支援担当とJAいるま野が協力して作成し、お知らせしています。

連絡先：埼玉県茶業研究所 農業革新支援担当 田中

TEL：04-2936-1351